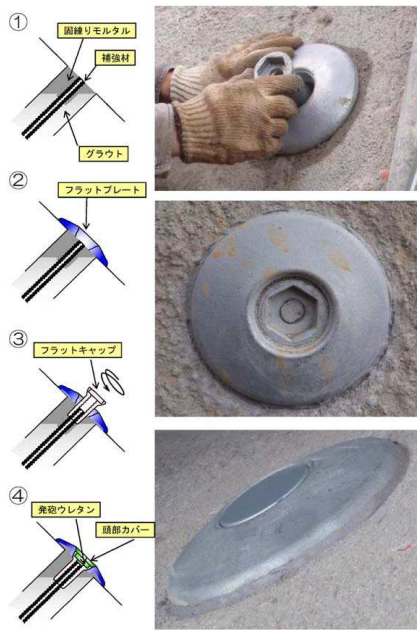
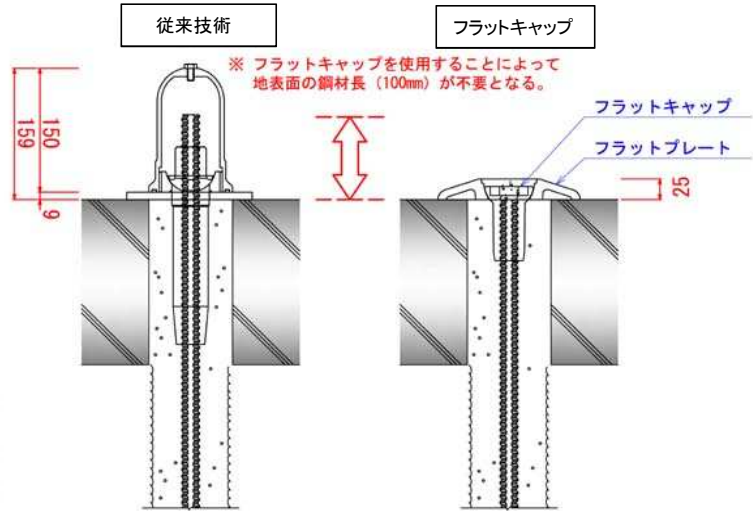


技術分類	安全 防災 環境 コスト ICT 品質		
技術名称	フラットキャップ	担当部署	
NETIS登録番号	KK-110058-A	担当者	川中 一博
社名等	災対新技術研究会	電話番号	0736-64-8099
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>地山補強工における鉄筋挿入工では、従来より地表面に接地した定着板をナットで締め付け、(締め付け部の余長として100mm必要)頭部保護のため、頭部防錆処理キャップで覆っていました。(頭部の突出が約150mm)</p> <p>地表にとびだした部分が、落石や車両等の接触など外部からの損傷を受けやすく、法面の保守作業時の障害となっていました。また、護岸に使用した場合には、河道の流下能力の支障となっていました。このようなことから、経済性、耐久性、周辺環境への影響が向上する製品の開発が求められていました。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>地山補強工の鉄筋挿入工(ロックボルト工)の地表突出を小さくする技術です。補強材の締め付け部の余長を無くして定着させることで、地表部の突出を抑えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補強材は頭部締め付け部の余長が不要で、頭部の突出が無くなります。 頭部処理材料は、フラットプレート(薄さ25mm)内に収まります。 <div data-bbox="547 882 1091 1182" data-label="Image"> <p>これまでのロックボルト フラットキャップを使用</p> </div> <p>3. 技術の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 補強材は頭部締め付け部の余長が不要となり、材料長を短くできます。 頭部処理材料はフラットプレート内に収まるので、頭部防錆処理キャップが不要となります。 地表部がとびださないで、外部からの損傷を受けにくく、法面の保守作業時に障害なりません。 地表部がとびださないで、護岸に使用した場合にも河道の流下能力の支障なりません。 <p>4. 技術の適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 地山補強工における鉄筋挿入工(ロックボルト工)の頭部処理に使用します。 ①適用可能な範囲 <ul style="list-style-type: none"> 鉄筋挿入工(ロックボルト工)の頭部処理の全てに適用が可能。 ②特に効果の高い適用範囲 <ul style="list-style-type: none"> とびださないで、鉄筋挿入工で地表部の突出が支障となる場合に効果が高い。 ③適用できない範囲 <ul style="list-style-type: none"> 従来の鉄筋挿入工(ロックボルト工)と同等。 ④適用にあたり、関係する基準およびその引用元 <ul style="list-style-type: none"> 従来の鉄筋挿入工(ロックボルト工)と同等。 <p>「切土補強土工法設計・施工要領」 東日本高速道路株式会社 中日本高速道路株式会社 西日本高速道路株式会社</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 5 件 (九州 1 件、九州以外 4 件) 自治体 59 件 (九州 6 件、九州以外 53 件) 民間 3 件 (九州 0 件、九州以外 3 件)</p>		

6. 写真・図・表



施工手順



構造図



従来技術との比較



突起物をつくらず、擁壁を補強



受圧板との併用で、法面を全面緑化



水路内に突起物をつくらず、護岸を補強

「いさぼうネット」に詳しい情報を掲載中。フラットキャップで検索！

<http://isabou.net/sponsor/saitai-shin-gijyutu/flat.asp>



災対新技術研究会

〒640-0405 和歌山県紀の川市貴志川町岸宮433

TEL 0736-64-8099 FAX 0736-64-8889

Email: saitai@ia6.itkeeper.ne.jp